

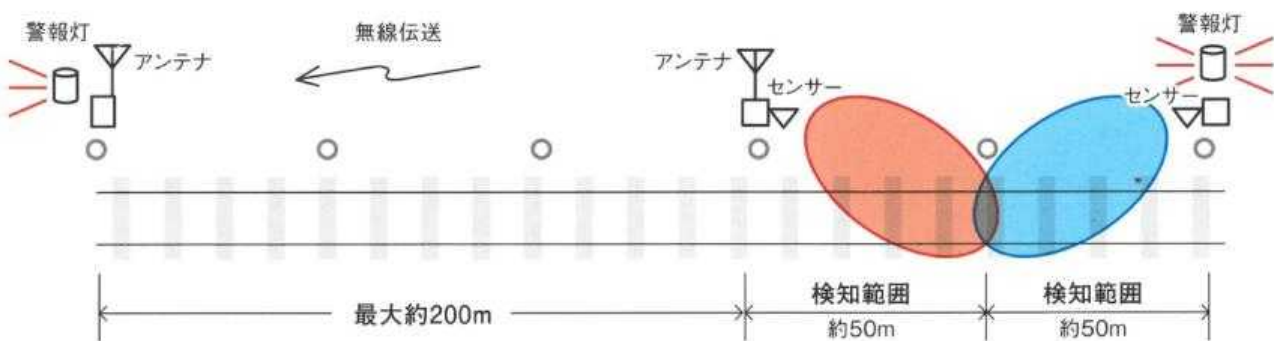
平成28年3月9日

獣害対策として「鹿検知通報装置」を設置します

年々増加している獣害（列車と動物の衝突による遅延の発生）を低減させるため、これまでも鹿侵入防止柵の整備等を行ってきましたが、新たに、鹿等が線路内に侵入した際に、警報灯で運転士に通知する鹿検知通報装置（株式会社つでん様製）を設置します。3月16日（水）以降に準備ができ次第使用を開始します。

（1）鹿検知通報装置の概要

線路に侵入する鹿等を線路付近に設置したセンサーで検知し、離れた場所に設置したパトライトを点灯させて列車の乗務員に通知します。パトライトの点灯を認めた乗務員は、予め設定した区間で速度を落として運転し、鹿等との衝突を回避します。



（2）実施区間

山陰本線 福知山・上川口駅間（検知範囲約226m）

<住所> 京都府福知山市牧

山陰本線 和田山・養父駅間（検知範囲約195m）

<住所> 兵庫県朝来市和田山町土田～宮田

【ご参考】装置の構成



（3）使用開始時期

平成28年3月16日（水）以降準備出来次第